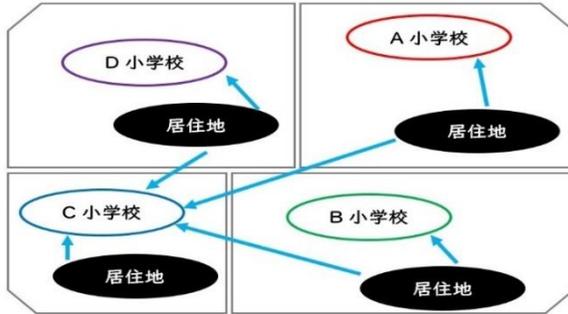


令和5年（2023年）4月  
教育改革推進課

1 概要

加速度的に進行する少子化に対し、複式学級をはじめとした小規模校の課題解消を図るため「従来の通学区域は残したまま、市内のどこからでも転入学を認める小規模特認校制度」の導入を検討するもの。



**C 小学校：小規模特認校**  
Cの居住者はC小学校に通学。その他のA・B・Dの居住者は指定校であるそれぞれの小学校と小規模特認校であるC小学校を選択できる。

2 目的

- (1) 複式学級をはじめとした小規模校の課題解消を行い、教育活動の活性化を図る。
- (2) 子どもの学びの場の選択肢を増やす。

3 対象校

複式学級のあるもしくは複式学級となる見込みのある学校について導入を検討（本荘小・中緑小・山本小）

4 令和5年度 小規模特認校制度対象校の現状

(1) 児童数・学級数 (R4.5.1 現在)

学校名	区	児童数 (通常)	学級数 (通常)	備考
本荘小	中央区	56	5	複式学級1クラス(4年・5年)
中緑小	南区	40	4	複式学級2クラス(3年・4年、5年・6年)
山本小	北区	76	5	複式学級1クラス(3年・4年)

(2) 児童生徒数、学級数将来推計 (R4.5.1 現在)

学校名		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
本荘小	児童数	60	67	66	76	82	93	108
	学級数	7 (通常5・特支2)	5	6	6	6	6	6
中緑小	児童数	43	46	41	45	35	33	34
	学級数	5 (通常4・特支1)	4	4	4	4	3	4
山本小	児童数	81	76	71	71	73	60	56
	学級数	6 (通常5・特支1)	5	5	6	6	6	5

(3) 複式学級（小規模校）の良さ

- ① 学習指導等において、教員の目が行きやすく細やかな指導ができる。
- ② 授業や行事等において、個人の活躍する場が多くなる。
- ③ 相互の人間関係が深まりやすく、異学年交流も活発にできる。

(4) 複式学級の課題

- ① 複式学級のため、自習が増える。
- ② 多様な意見に触れる機会の不足や人間関係が固定化する等、教育活動が制約される。
- ③ 教員の配置数が少ない。

5 方向性

市内のどこからでも転入学を認める小規模特認校制度を導入し、学校の特色や少人数のよさを生かしながら、一人一人の子どもに対して個に応じた行き届いた教育や様々な体験活動を行い、複式学級の解消と教育活動の活性化等を目指す。

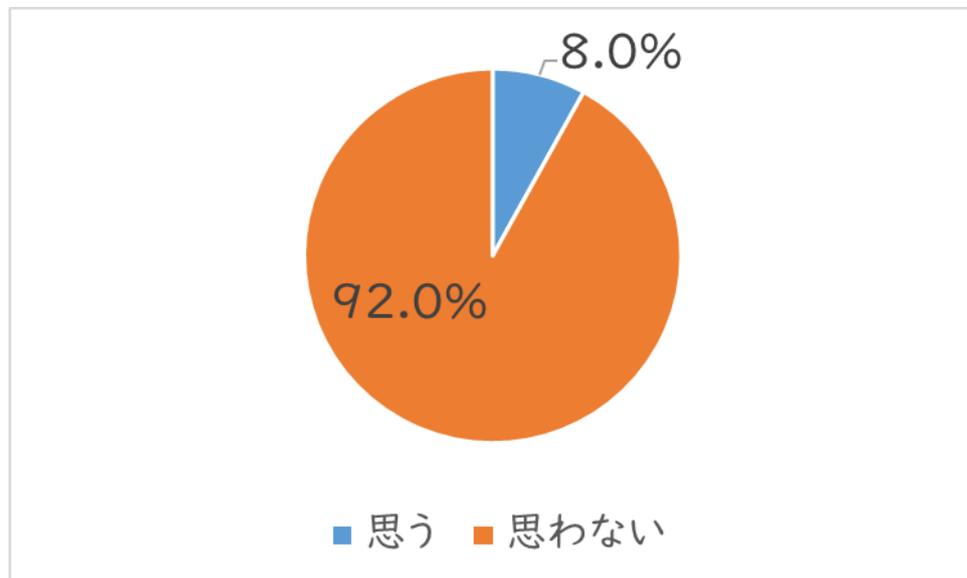
6 小規模特認校制度策定までのスケジュール(案)

実施時期	内容等	備考
R5. 2月 3月上旬 ～ 3月下旬	○3校区の自治協議会長、保護者、保育園等への説明 ○アンケート実施集計(全市、3校、3校区幼児教育施設) ○アンケート結果分析	導入準備
4月上旬 4月中旬 4月下旬	○3校長、PTA 役員、自治協議会長、まちセン等へのアンケート結果報告 ○3校PTA総会 アンケート結果・導入に向けての説明 ○アンケート結果報告(HP 等への掲載)	*指導課 と共有 保護者 地域
5月	○実施要綱(案)・小規模特認校就学申請書等検討	
6月	○実施要綱・小規模特認校就学申請書等作成 ○実施要綱【教育長決裁】	本格導入
7月～8月	○募集案内・実施要項・小規模特認校就学申請書等公表 ○全体説明会	保護者 地域
9月	○小規模特認校就学希望者(保護者)に係る説明会・見学会(各校で実施)	
10月	○小規模特認校就学希望者の受付開始 ○就学時検診での文書配布 ○小規模特認校の学校見学・体験 *対象:小規模特認校就学希望者	
11月 12月上旬	○小規模特認校希望者面談(校長・市教委・児童保護者) ○小規模特認校入学・転学審査及び結果通知  *定員については、小規模校の特色を生かすため、児童の現状、学校施設等を考慮し、教育委員会が当該特認校と協議上、決定 *定員を超える申し込みがあった場合は、公開抽選(案)	
R6.4.1	○小規模特認校制度開始	

7 小規模特認校制度に関する全市アンケート結果（全市小学校1年生～5年生保護者対象）

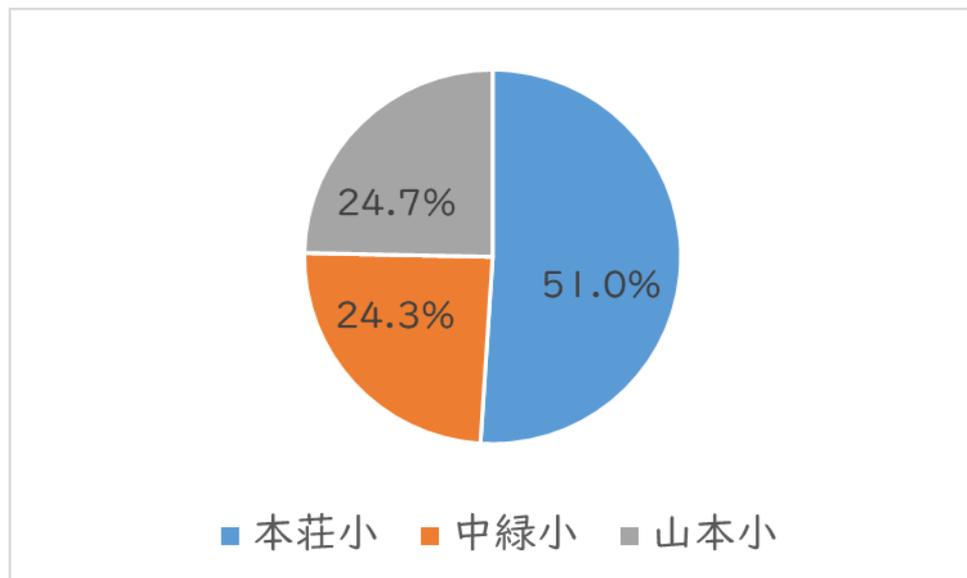
令和5年（2023年）3月10日～3月17日実施

質問1 本荘小学校、中緑小学校、山本小学校の3校で、従来の通学区域は残したままで、通学区域に関係なく、この3校への就学を認める制度の導入について検討しています。あなたのお子様を通わせてみたいと思いますか。



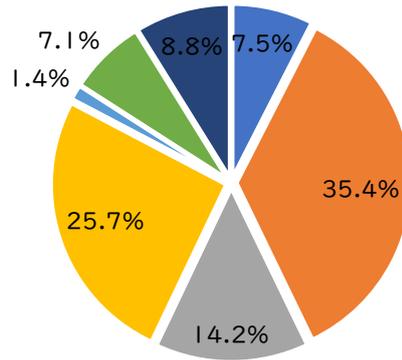
	回答数	割合
思う	874	8.0%
思わない	10023	92.0%
	10897	

質問2 質問1で「思う」を選んだ方で、興味・関心を持たれた学校はどこですか。（複数選択可）



	回答数	割合	回答の内1校のみ(1択)
本荘小	664	51.0%	424
中緑小	316	24.3%	85
山本小	321	24.7%	111
	1301		

質問3 質問1で「思う」を選んだ理由は何ですか。(複数選択可)



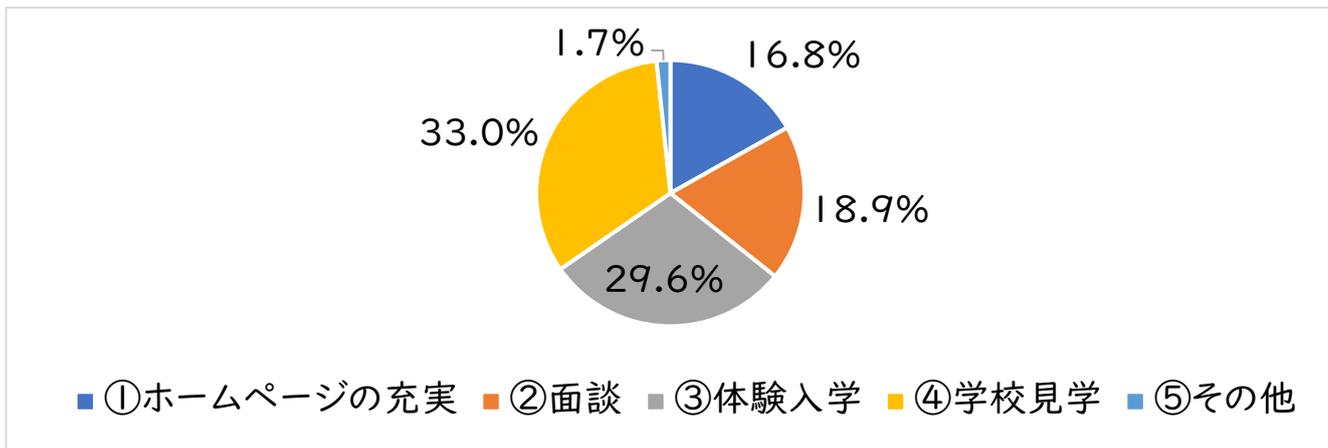
- ①学校の特色に魅力を感じたから
- ②少人数により、一人一人に応じた学習が期待できるから
- ③少人数により、子どもが行事等で活躍する場が多くなると思うから
- ④少人数により、子ども同士、子どもと先生との距離が近くなると思うから
- ⑤現在通う学校より近いから
- ⑥自宅や勤務場所等から比較的近いから
- ⑦その他

	回答数	割合
①学校の特色に魅力を感じたから	135	7.5%
②少人数により、一人一人に応じた学習が期待できるから	640	35.4%
③少人数により、子どもが行事等で活躍する場が多くなると思うから	256	14.2%
④少人数により、子ども同士、子どもと先生との距離が近くなると思うから	465	25.7%
⑤現在通う学校より近いから	25	1.4%
⑥自宅や勤務場所等から比較的近いから	128	7.1%
⑦その他	159	8.8%
	1808	

⑦その他(概要・抜粋)

- ・子供の選択肢が増えるから。(選択肢が広がるから。)
- ・卒業した小学校だから。
- ・実家に近いから。
- ・不登校やいじめ、トラブル等で、環境を変えることができるから。
- ・自然豊かな環境で学ばせたいから。
- ・行事に魅力を感じるから。

質問4 通わせることを検討する場合、事前にどのような取組があるとよいと思いますか。(複数選択可)

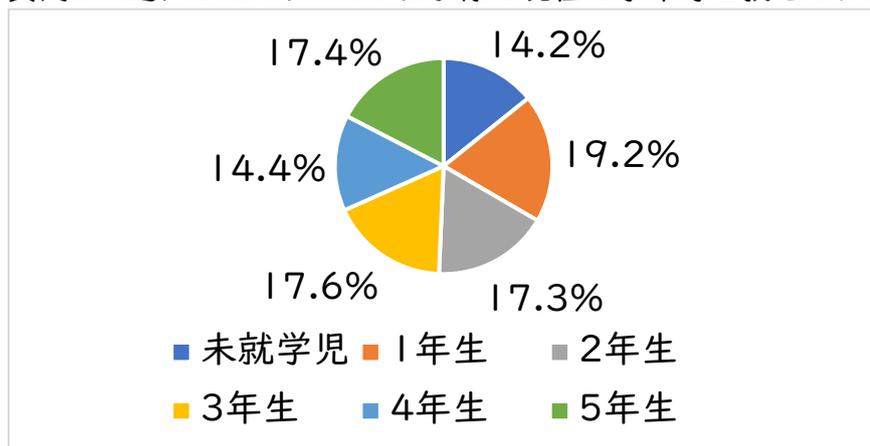


	回答数	割合
①ホームページの充実	396	16.8%
②面談	446	18.9%
③体験入学	697	29.6%
④学校見学	778	33.0%
⑤その他	39	1.7%
	2356	

⑤その他(概要・抜粋)

- ・通学バスの導入等
- ・通学補助(案内、相談、方法等)
- ・オンラインや動画による紹介
- ・寮や下宿先(ホームステイ)の整備
- ・その学校の児童や保護者、先生の意見
- ・3校のパンフレット
- ・特別支援学級の支援体制や様子等
- ・先生の情報や学校行事等
- ・出前授業

質問5 通わせたいすべてのお子様の現在の学年等を教えてください。

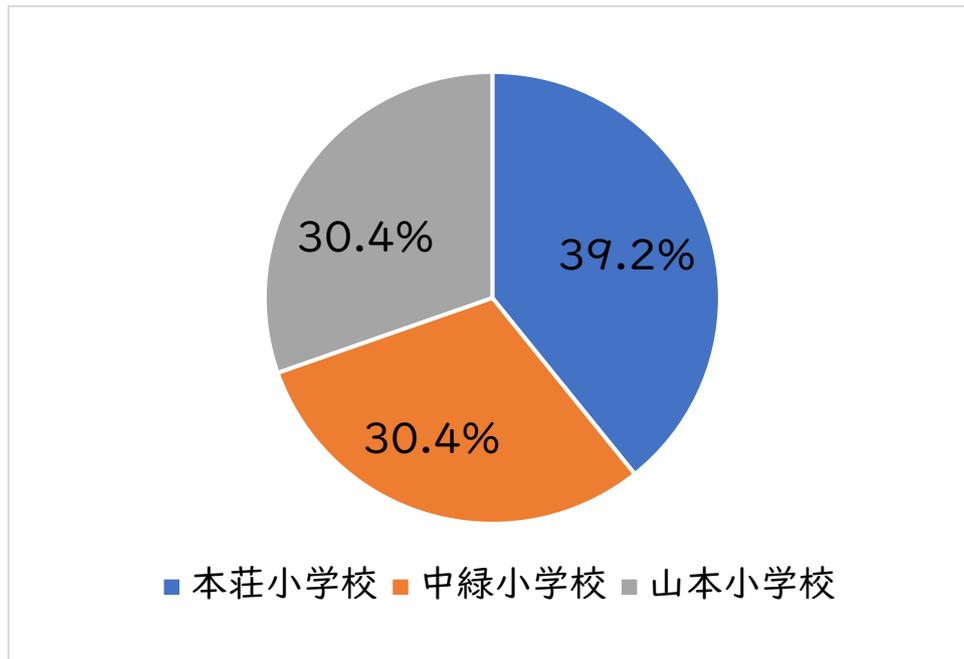


	回答数	割合
未就学児	166	14.2%
1年生	225	19.2%
2年生	202	17.3%
3年生	206	17.6%
4年生	168	14.4%
5年生	203	17.4%
	1170	

8 小規模特認校制度に関する3校アンケート結果（本荘小・中緑小・山本小保護者対象）

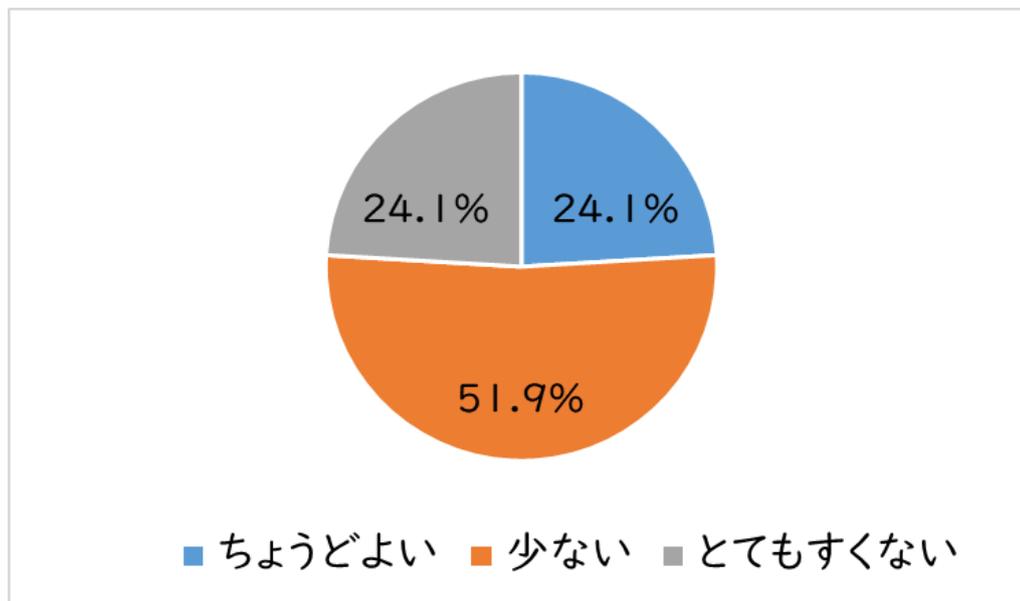
令和5年（2023年）3月3日～3月9日実施

質問1 学校名を教えてください。



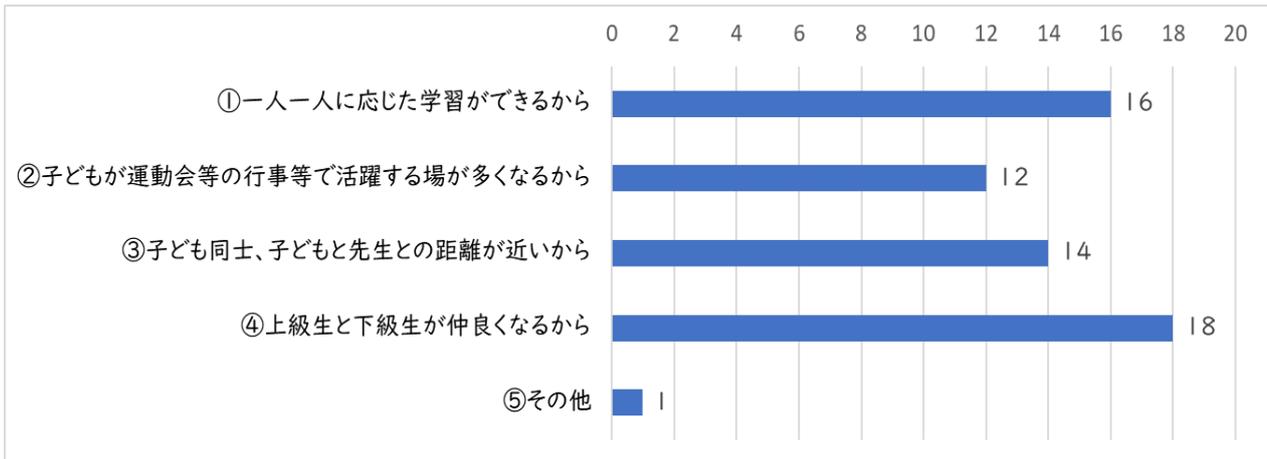
	回答数	割合
本荘小学校	31	39.2%
中緑小学校	24	30.4%
山本小学校	24	30.4%
	79	

質問2 通学している小学校の今現在の児童数・学級数等の現状について、どう思われますか。



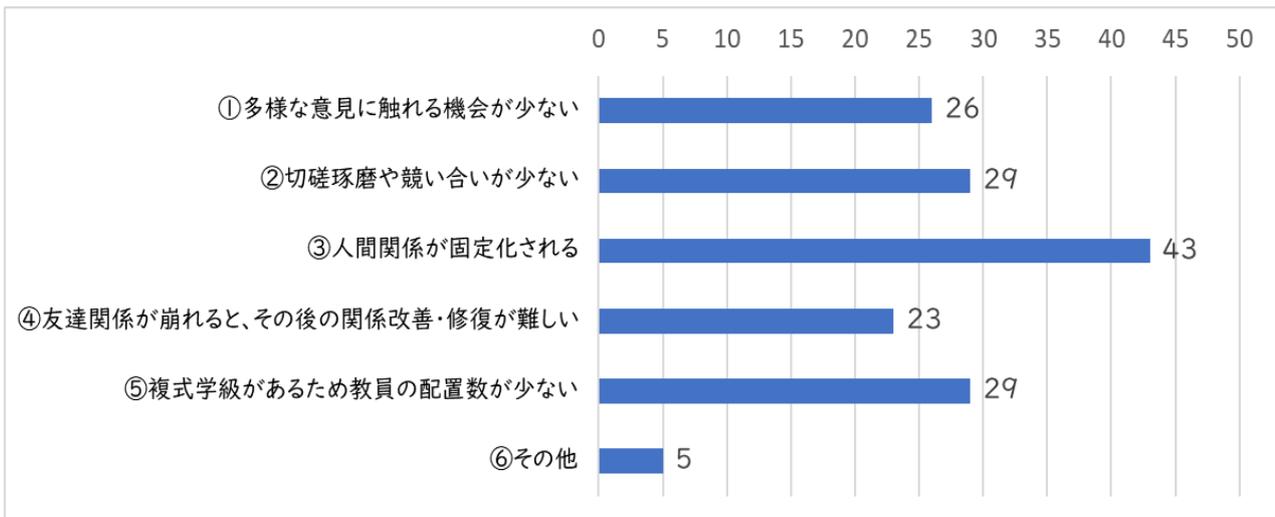
	回答数	割合
ちょうどよい	19	24.1%
少ない	41	51.9%
とてもすくない	19	24.1%
	79	100.0%

質問3 質問2で「ちょうどよい」を選んだ理由は何ですか。(複数回答可)



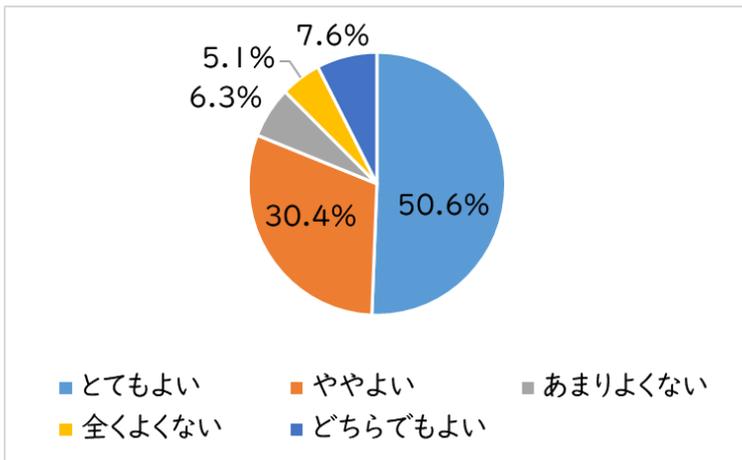
①一人一人に応じた学習ができるから	16
②子どもが運動会等の行事等で活躍する場が多くなるから	12
③子ども同士、子どもと先生との距離が近いから	14
④上級生と下級生が仲良くなるから	18
⑤その他 ・親も、同じ小学校に通う子どもたちを個々に認識できる	1

質問4 質問2で「少ない とても少ない」を選んだ理由は何ですか。(複数選択可)



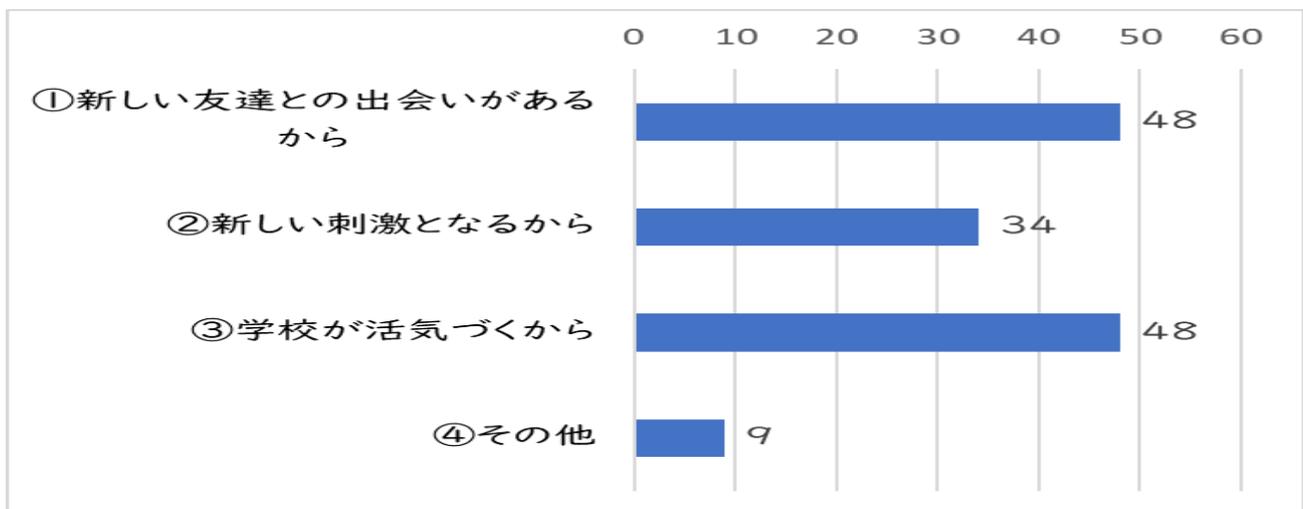
①多様な意見に触れる機会が少ない	26
②切磋琢磨や競い合いが少ない	29
③人間関係が固定化される	43
④友達関係が崩れると、その後の関係改善・修復が難しい	23
⑤複式学級があるため教員の配置数が少ない	29
⑥その他 ・スポーツなどで、できることが限られてしまう ・中学校に上がった後が不安 スポーツの面では授業内容やクラブ活動(私設クラブも含む)などが限られており、触れ合う機会が少なく自分を発揮されにくいと思う ・複式は学習面が不安。単式に比べて1時間の半分しか学年の授業が取れてないような気がして、学習の遅れ等とても不安	5

質問5 従来の通学区域は残したままで、通学区域に関係なく全市のどこからでも、あなたのお子様に通う学校に校区外から就学を認める小規模特認校制度を導入することについて、どう思われますか。



	回答数	割合
とてもよい	40	50.6%
ややよい	24	30.4%
あまりよくない	5	6.3%
全くよくない	4	5.1%
どちらでもよい	6	7.6%
	79	

質問5で「とてもよい ややよい」を選んだ理由は何ですか。(複数回答可)



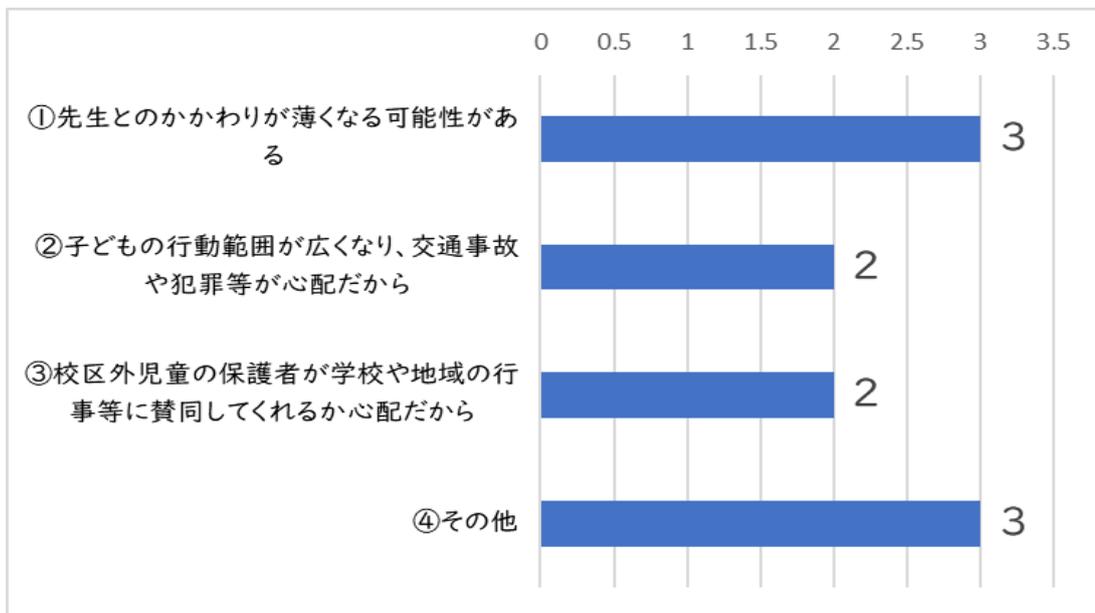
①新しい友達との出会いがあるから	48
②新しい刺激となるから	34
③学校が活気づくから	48
④その他	9
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の周りの人たちで、職場が街中で本来の通学学校では育成のお迎えが間に合わず、職場の近くの学校に通わせたいが、市役所に相談してもダメだった、という人を何人か知っているから。</li> <li>・入学予定の本人が少ない人数に不安を感じている（同性の友達がいなくてもいい、もしくはすごく少ないのかも）少人数で目が行き届くいい学校だと思うので周りの学校、園、SNS などでも周知される事を願う。</li> <li>・大勢のクラスに馴染めなくて学校に行けない子どもが、少人数なら行けるとなれば、友達が出るかもしれないから。</li> <li>・逆に自分たちに於いても、校区外へ引っ越すことができる。</li> <li>・人が来ることによる、地域の活性化が見込める。</li> <li>・保護者の役員や活動の負担も減るかなと。今は、少なすぎて保護者の負担が多すぎる。他から来てくれればいいけど、全然来てくれない場合は、近くの小学校と統合も考えてほしい。子供達にとっては、すごくいい環境ではあるんですが…</li> <li>・近隣校区も含めその他の校区の色々なお子さんが、中緑でのびのび過ごしてもらえる事はとても素晴らしいと思う。ただ、不登校のお子さんに関してはその問題を転校と言う形で解決できるものなのか疑問があるので、きちんとしたフォローも必要と思う。また、田舎特有</li> </ul>	

の保護者間の密さはあるので…通われる保護者さんの調整もいるかと思う。是非お友だちが増えて欲しい。

・不登校やいじめなどを理由に転入して来られる場合も多いのかなと想像するが、そうなる  
と先生方の負担はどうなのかが気になる。

・複式学級の解消につながり学校職員の負担も減ることになる。4月からこちらの小学校  
に子どもがお世話になっていて、落ち着いた環境で学習できている。少子化による学校存  
続も心配なところなので、小規模校ならではの良さを残しつつ、生徒が増えるのはいいか  
なと思う。

質問5で「あまりよくない 全くよくない」を選んだ理由は何ですか。



①先生とのかかわりが薄くなる可能性がある	3
②子どもの行動範囲が広くなり、交通事故や犯罪等が心配だから	2
③校区外児童の保護者が学校や地域の行事等に賛同してくれるか心配だから	2
④その他	3
<p>・少人数ということで、人数をただ増やせばいいという問題だけではないと思う。単純に言えば、人数を増やして、複式学級から単式学級になることは、先生も生徒も、複数学年をまたぐよりシンプルになるのでその点がいいと感じる。</p> <p>・何らかの問題を持った子供たちが来るのではと思う。</p> <p>・過去に来たのは問題を抱えた児童であり、うちの子供は暴力を振るわれトラブルになった。児童の親も非常識で大変不愉快な思いをしたから。</p>	

令和6年度

## 児童募集(案)

～(仮)ハーモニースクール(小規模特認校制度)～

熊本市教育委員会

## 1 趣旨・目的

熊本市では、令和6年度から小規模特認校制度を実施します。この制度は、従来の通学区域は残したままで、特定の学校について、通学区域に関係なく、当該市内のどこからでも就学を認めるものです。

小規模特認校（以下「特認校」）に通学することにより、各学校の特色や少人数のよさを生かし、一人一人の子どもに対して個に応じた行き届いた教育や様々な体験活動を行うことで、確かな学力と豊かな人間性を培うとともに、複式学級をはじめとした小規模校の課題解消と教育活動の活性化を図ることを目指します。

## 2 基本的な考え方

保護者が、上記の趣旨及び目的に従い、特認校の教育方針や特色ある教育実践を理解し、賛同して、わが子を学ばせたいという強い希望がある場合、保護者の責任において通学させるなど一定の条件のもと特別に入学や転学を認めるものです。

特認校においては、児童数が増えることで教育活動が活性化するとともに、地域の活力も向上することを目的としています。

## 3 対象となる特認校

(R5.1.15現在)

小学校名	児童数 (通常)	所在地	TEL	ホームページ
本荘	67	中央区本荘6丁目5番47号	364-2929	<a href="http://www.kumamoto-kmm.ed.jp/sch/e/honjyoes/">http://www.kumamoto-kmm.ed.jp/sch/e/honjyoes/</a>
中緑	44	南区美登里町 800 番地	223-1415	<a href="http://www.kumamoto-kmm.ed.jp/sch/e/nakamidories/">http://www.kumamoto-kmm.ed.jp/sch/e/nakamidories/</a>
山本	75	北区植木町内 1424 番地	272-0839	<a href="http://www.kumamoto-kmm.ed.jp/sch/e/yamamotoes/">http://www.kumamoto-kmm.ed.jp/sch/e/yamamotoes/</a>

## 4 転入学の条件

- (1) 保護者及び児童がともに熊本市に居住していること。
- (2) 保護者が特認校の教育活動や保護者間の協力体制に賛同すること
- (3) 保護者の負担と責任において、児童を安全に通学させることができること。
- (4) 原則として、転入学後 1 年以上通学ができること。ただし、特別な理由がある場合は、この限りではない。
- (5) 原則として、事前に学校説明会・学校見学等を通して学校の状況が把握できていること。

## 5 転入学の募集人員

(R0.0.0 現在学級数児童生徒数調)

小学校名	新1年生	新2年生	新3年生	新4年生	新5年生	新6年生
本荘	未定	○人以内	○人以内	○人以内	○人以内	○人以内
中緑	未定	○人以内	○人以内	○人以内	○人以内	○人以内
山本	未定	○人以内	○人以内	○人以内	○人以内	○人以内

少人数の特色を生かすため、○人(在校生を含む)以内とし、児童の現状、学校施設等を考慮し、教育委員会が当該特認校と協議の上、決定します。

## 6 小規模特認校制度事前説明会・学校説明会・学校見学

特認校の教育方針や特色ある教育実践、転入学手続きの方法等を理解してもらうため、事前説明会・学校説明会・見学会に参加してください。なお、どうしても参加できない場合は、ご相談ください。

### 【小規模特認校制度事前説明会】

オンライン配信及びオンデマンド配信 令和5年8月 日( )18時～

### 【学校説明会・学校見学 実施日時】

本荘小学校 令和5年9月 日( )・9月 日( )14時～

中緑小学校 令和5年9月 日( )・9月 日( )14時～

山本小学校 令和5年9月 日( )・9月 日( )14時～

## 7 募集・手続き

### (1) 募集期間

令和5年10月 日( )～10月 日( )8時30～16時30分 ただし、小学校の休校日、教育委員会指導課の閉庁日は申込書の受取、提出はできません。

### (2) 申し込み方法

#### ① 在籍児童の場合

現在在籍している小学校の担任の先生を通じて学校長に、「小規模特認校就学申請書」を提出してください。

#### ② 令和6年度入学を予定している児童

教育委員会指導課に「小規模特認校就学申請書」を提出してください。

申込書は熊本市のホームページからダウンロードできます。また熊本市教育委員会、市立小学校などでも配布しています。

### (3) 面談・体験入学等(転入学対象となる見込みの保護者・児童のみ)

転入学対象となる見込みの保護者・児童は、必要に応じて各校で面談・体験入学等を実施します。面談日時は後日調整しますが、令和5年11月下旬頃の14時から17時までの間で一人あたり15分間程度を予定しています。

### (4) 転入学の決定

面談を実施後、教育委員会が転入学の可否を判断し、令和5年12月末までに各保護者宛てに通知します。なお、次の点についてあらかじめご了承ください。

※転入学を許可した後に、「申告内容と実態が異なる場合」又は、「この制度の趣旨・目的に合わない事由が生じた」と認められた場合は、転入学を取り消すことがあります。

### (5) 指定学校変更手続き

転入学の決定通知がお手元に届きましたら、令和6年 月 日( )までに、指定学校変更の手続きを行ってください。

## 8 転入学予定日等

令和6年4月1日とします。

## 9 中学校への進学

特認校の児童が進学する中学校への進学を認めます。

## 10 問い合わせ先

熊本市教育委員会 教育改革推進課 …(096)328-2708(直通)

# 本荘小学校・中緑小学校・山本小学校の紹介

## 本荘小学校

市の中心という好立地を生かし、ICT を活用した少人数指導やフレンドリーオンライン等、特色ある教育活動に取り組んでいます。

### ★★★ これまでの主な学校行事 ★★★

- 1 学期： 歓迎遠足 運動会 水泳大会
- 2 学期： 集団宿泊（阿蘇青少年交流の家）  
修学旅行（6年生） 博物館見学1～6年
- 3 学期： 校内持久走記録会 縄跳び大会 お別れ遠足  
ジョイントレッスン（中学校体験入学）

\*行事内容は年度によって変更する場合があります。

本荘小学校のホームページはこちらから



ICT を活用した授業の様子



歓迎遠足（平成中央公園）



水泳大会



太鼓部演奏

## 中緑小学校

自然・歴史・文化に触れ、地域、そして人とのつながり合いやかかわり合いを大切に取り組んでいます。令和9年度、新たに義務教育学校として開校予定です。

### ★★★ これまでの主な学校行事 ★★★

- 1 学期： 歓迎遠足 運動会
- 2 学期： 見学旅行（1～4年生）集団宿泊教室（5年生）  
修学旅行（6年生） 環境学習会  
案山子づくり（1・2年生）
- 3 学期： 送別遠足（スケート教室）

定期的に「学校会」を開催し、全校児童みんなで話合い活動を行い、様々なことを決めてい

\*行事内容は年度によって変更する場合があります。

中緑小学校のホームページはこちらから



学校会の様子



案山子づくり



環境学習会（加勢川探索等）



## 山本小学校

恵まれた自然環境の中でスイカや米作りなどの豊かな体験活動、全学年で取り組む伝統の城ノ越太鼓の演奏など、特色ある教育活動を実施しています。

### ★★★ これまでの主な学校行事 ★★★

- 1 学期： 歓迎遠足 運動会 田植え（5年生）  
スイカ収穫（4年生） 環境学習（5年生）
- 2 学期： 集団宿泊教室（5年生）修学旅行（6年生）  
見学旅行（1～4年生） 稲刈り・もちつき（5年生）
- 3 学期： スイカ定植（3年生） お別れ遠足

\*行事内容は年度によって変更する場合があります。

山本小学校のホームページはこちらから



スイカ収穫



城ノ越太鼓



稲刈り



運動会